

いいかも

可茂県事務所 振興防災課
〒505-8508
美濃加茂市古井町下古井 2610-1
TEL：0574-25-3111 内線 208
FAX：0574-25-3934

夏季休業中の在宅取組計画を紹介

本年度のリーダー研修会では、コロナ禍にあつての在宅取組型の家庭教育学級を中心に紹介してきました。オンライン配信形式では、「他の学級のいろんな取組情報も知りたかった。」というご意見をいただきました。提出いただいた家庭教育学級年間計画の中から、可茂管内の7・8月に行われる予定からピックアップしましたので、在宅取組のアイデアを参考にしてください。

	学習題	概要など	種別
家族の絆	話そう 語ろう わが家の約束	夏休みを機会に、親子で約束を決めて共に取り組み、絆を深める。	小
	家族の絆作り	各家庭で親子の協働活動を行うことを通して、親子の絆を深める。→夏休み作品展で展示する。	小
	おうち先生から学ぼう	父母、祖父母が得意なことを「〇〇先生」として児童と取り組むことにより、家族の絆を深める。	小
	一家庭一実践	家族そろって一つの活動に取り組み、家族の心をつなぐ。	小・中
コミュニケーション スキニング メディアの取組	話そう 語ろう わが家の約束	ノーマディアを作って、家族の語らいを増やそう。	小
	家族のためにできること	手伝いの計画や実施を通して子どもとの交流を図る。	中
	約束カード	わが家の約束運動を家庭で行い、親子のコミュニケーションを図る。	幼
	夏の生活表	生活習慣の見直し、親子のコミュニケーション	保
	親子で窓拭き	窓拭きをしながら、親子での会話の機会を設ける	中
	みんなでチャレンジャー週間	家族で約束事を決め、1週間取り組み、たくさん褒めスキニングをとる。	保
	ばくばく・ほめほめタイム	野菜に興味を持ってもらう。親子でスキニング、自己肯定感を高めよう。	保
読書	親子ふれあい読書、一家庭一ボランティア	親子で読書に親しもう。親子でボランティアやお手伝いに取り組もう。	小
	夏休みメディアコントロール	学級委員会が中心となり、メディアコントロール、親子読書の取組を行う。	小
言葉	夏休み期間の在宅型講座	「毎日一言ほかほか言葉」をテーマにしたプリントを配付し、各家庭で取り組んでいただき、結果を集計し配布する。	小
	ほかほか言葉かけ運動	夏休みの10日間、どんな言葉が言えたか表に記載する。	小
食育	おうちで作ろう	みんな大好きな給食メニューを、レシピをもとに自宅で親子クッキング	幼
	うちごはん	実施後、アンケートを集約する。	小
	お弁当づくり	親子でお弁当を作ろう。	小
	チャレンジmy朝食	朝食づくりに取り組む。	中
その他	親子ハッピーはみがき活動	はみがきカードを使って、親子で取り組む。	小
	早寝早起き朝ごはん、歯磨き	親子でチェックし、運動会の時に表彰式を行う。	小
	廃材工作	夏休み明けの作品展	幼

在宅取組のまとめ方アイデア

参加者の皆さんから集まってきた取組表を生かして、在宅取組をまとめてみませんか。

- 1 取組の様子や子ども、保護者の声などを通信にまとめ紹介してみてもいいでしょうか。すてきな姿を多くの家庭に広めることができます。
- 2 参加者の感想から、今後の取組や心構えを提案してみてもいいでしょうか。
⇒学校と協力して、定期的に家庭教育の状況を振り返ることも大切です。

「みんなで子育てⅡ（乳幼児期編）」「みんなで子育て3（小中学校編）」も参考にしてください。

県内のオンラインによる 家庭教育学級アイデア例

タブレット端末を
自宅へ持ち帰り、学習する機会
が増えてきそうです。

海津市立大江小学校

学習者用端末を使った家庭教育学級

令和3年6月19日（土）

11：25～11：35 一人一台タブレット端末時代の情報モラル

11：40～12：10 学年ごとにオンライン学習＋授業参観



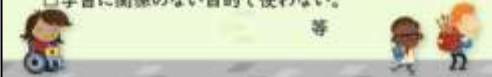
「GIGA スクール構想」によって配備されたタブレット端末を自宅に持ち帰って活用する場面が増えることにより、情報モラルを意識する機会が増えてきます。しかし、配付されたタブレットが家ではゲーム機のような扱われ方をされ、幼少期から1日1時間程度の運動をする割合が減るなど、健康面への心配がでてきました。

大江小学校では、児童が自宅に持ち帰ったタブレットを使って、「学校と家庭が事前に共有すること」をテーマとした家庭教育学級を、学校長が講師となっていきました。また、自宅にいる児童が学年ごとの「クラスルーム」に入り、オンラインでの学習を行い、保護者が自宅でその様子を参観しました。

子どもに配備されたタブレットでどんなことができるのか、家庭でどんなことに注意するとよいのか、夏休みにタブレットを持ち帰る前に確認できました。

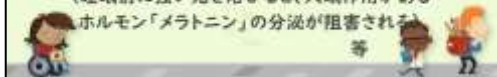
児童が端末を扱う際のルールを家庭との共有

- 使用時間を守る。
- 端末、アカウント(ID)、パスワードを適切に取り扱うこと
→貸さない →教えない
- 不適切なサイトにアクセスしない。
- 端末を使用するときは、落としたり、濡らしたりしない。
- 学習に関係のない目的で使わない。



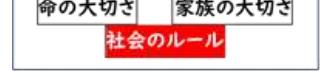
学校・家庭での健康面へ配慮した使用

- 端末の画面との距離を30cm以上離す。
- 長時間にわたって継続して画面を見ないように、30分に1回は、20秒以上、画面から目を離して、できるだけ遠くを見るなどして、目を休める。
- 就寝1時間前からはICTの利用を控える。
(睡眠前に強い光を浴びると、入眠作用があるホルモン「メラトニン」の分泌が阻害される)



家庭教育で教え、育むこと

- 今回はこれ！
- | | |
|----------|--------|
| 基本的な生活習慣 | 自立心 |
| 自制心 | 善悪の判断 |
| 挨拶及び礼儀 | 思いやり |
| 命の大切さ | 家族の大切さ |
| 社会のルール | |



コロナ禍を乗り越えて、同時刻に各家庭で親子と一緒に調理ができる即時性や、双方向性により質問や感想交流もできる工夫がみられます。

大垣市立西小学校 家庭教育学級

おにぎらず

【体験活動参加】ZOOMによる配信
令和3年6月26日(土) 11:00~12:30



配信中の画面です。上から撮っているので、手順がよく分かります。料理番組のようですね。

講師の方より

- ・子ども達がやることに対して、「だめ」と言わないようにしましょう。
- ・子ども達がこれからやることについて、「ちがう」ということはありません。
- ・おにぎらずを誰に作るか考えて、その人のために作りましょう。



「一歩前進」

- ・各家庭で、事前に、おにぎらず用の赤、緑、黄色の食材を用意しました。講師の方は、赤：紅鮭、緑：ほうれん草のお浸し、黄色：卵焼きを用意して作りました。
- ・おにぎらずの講師の実演を見た後、30分間が作る時間でした。その間、各家庭は、おにぎらずを作りながら、講師への質問があれば、音声をオンにして聞きました。
- ・一緒に「いただきます」をしてから、それぞれのおにぎらずの断面を見せて、使った食材、だれのために作ったか、また、「レタス山もり」「もりもりおにぎり」などのおにぎらずにつけた名前を発表しました。
- ・また、食べた感想を「おいしい」以外の言葉で伝えました。「ジューシーです。」「パリパリです。」「サーモンの溶けた醤油がご飯にしみていて最高です。」「チーズとご飯が合う。」「オクラと焼き肉の組み合わせ最高。」などなど、いろいろな表現が生まれました。「自分のために作ったけど、おいしいからお母さんにも作ってあげたい。」という感想もありました。

家庭教育で教え、育むこと

今回はこれ！

基本的な生活習慣 自立心

自制心

善悪の判断

挨拶及び礼儀

思いやり

命の大切さ

家族の大切さ

社会のルール

リアルタイムでつながる楽しさ

同じ時間に一緒に調理し、一緒に食べるという共有感、質問や感想がすぐ言えるという即時性。コロナのためにできなくなってしまっていた体験活動参加型の家庭教育学級ですが、双方向通信サービスを利用することによって実現することができました。

